

平成27年 第1回羽咋市教育委員会 / 会議録

1 日 時 平成27年2月25日(水)
開 会 午前 9時00分
閉 会 午前 11時55分

2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室

3 出席者 委 員 長 井 上 克 彦
委員長職務代理者 西 村 麗 子
委 員 前 田 美 佳
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎

4 職務のため出席した者

教 育 次 長 若 狭 義 高
学務担当課長 濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐 金 山 幸 富
文化財室長 高 野 誠 鮮
文化財室長補佐 若 狭 康 子
生涯学習課長 杉 野 和 明
生涯学習課課長補佐 中 野 好 一
生涯学習課主幹 滝 口 一 彦
生涯学習課主幹 中 村 茂 樹
スポーツ推進室主幹 中 越 繁 樹

5 付議案件

- (1) 議案第1号 平成27年度羽咋市教育方針について
- (2) 議案第2号 平成27年度羽咋市一般会計予算(教育費)について
- (3) 議案第3号 平成26年度羽咋市一般会計補正予算(教育費)について
- (4) 議案第4号 羽咋市立博物館条例の制定について
- (5) 議案第5号 羽咋市文化財保護条例の全部改正について
- (6) 議案第6号 羽咋市立博物館の管理運営規則の制定について
- (7) 議案第7号 羽咋市文化財保護条例施行規則の全部改正について

(8) 議案第 8 号 羽咋市就学指導委員会規則の一部改正について

6 協議、報告事項

- (1) 携帯電話端末等の適切な利用について
- (2) 峨山道トレイルランの開催について
- (3) 羽咋市指定文化財保存事業等に関する補助金交付要綱の制定について
- (4) 石川県指定無形民俗文化財について
- (5) 市内小中学校卒業式について
- (6) 平成 27 年第 1 回羽咋市議会定例会日程について
- (7) その他

7 署名委員

委 員 長

委員長職務代理者

委 員

委 員

書 記

8 会議の概要 別紙のとおり。

9 会議の結果 議案第 1 号から第 8 号を承認した。

平成 27 年 2 月 25 日

羽咋市教育委員会

会議の概要

- 井上委員長 : 開会のあいさつをし、日程に従い、前回会議録の承認を促した。
- 金山補佐 : 前回会議録について、不足、不備がないか聞き、承認を得た。
- 井上委員長 : 議案第1号平成27年度羽咋市教育方針について説明を求める。
- 若狭次長 : 学校教育課関係事業について説明。
- 杉野課長 : 生涯学習課関係事業及びスポーツ推進室関係事業について説明。
- 高野室長 : 文化財室関係事業について説明。
- 井上委員長 : 質疑を求める。
- : 情報機器の充実とは、具体的に何かあるのか。
- 金山補佐 : 具体的な事業はないが、充実に向けて努力する。
- 井上委員長 : 羽咋小学校体育館の照明をLEDにするとのことだが、羽咋小学校だけが大きな照明なのか。
- 若狭次長 : はい。
- 金山補佐 : 羽咋小学校の体育館は、複数のランプがまとまった照明でかなりの重量があり、落下すれば危険であるため、改修後は単体の照明にする予定。
- 井上委員長 : その他に質問がなく、第1号議案を承認する。
- : 議案第2号平成27年度羽咋市一般会計予算について説明を求める。
- 若狭次長 : 教育費の歳入並びに学校教育課関係予算について詳細説明。
- 今井委員 : 羽咋中学校スクールバス運行について、運行計画はどうなっているのか。
- 若狭次長 : 60人をスクールバス3台の3コースで運ぶ。登校時に朝1便、下校時は部活動を考慮した2便とし、土曜日は部活動のため午前・午後各1往復を運行する。
- 今井委員 : これまで民間バスの定期代の補助を行っていたが無くなるわけか。
- 若狭次長 : はい。通学援助と就学奨励費が減額となる。
- 西村職務代理 : 私立幼稚園の補助が市外の幼稚園に通う子供が対象であるとの説明だったが、羽咋市内から羽咋市外の幼稚園に通う場合か。
- 若狭次長 : はい。市内幼稚園は認定こども園に移行したため、健康福祉課が担当する。
- 井上委員長 : 来年度は中学校教科書採択の年であるが、予算計上してあるのか。
- 若狭次長 : 教育推進事務事業の負担金、補助及び交付金で計上している。
- 西村職務代理 : たんぼぼ教室は、現状のとおりで考えているのか。
- 若狭次長 : はい。現状の羽咋公民館とし体制を整えておく。なお、今年度の利用者はいなかった。

- 西村職務代理 : 現在は兼任の職員が対応しているが、専任の職員を配置する計画があるか。開設当初、午前中は職員が常駐していた。
- 若狭次長 : 来年度は、学校支援員の中からたんぼぼ教室に出向いて対応することを検討している。
- 北山教育長 : たんぼぼ教室は、申し込みがあれば職員を行かせるが、申し込みがない状態では職員の常駐は難しい。日頃は開いていないが、申し込みがあればすぐに対応してほしい。
- 井上委員長 : 受け皿を持っていることのPRをしっかりとしてほしい。
- 今井委員 : 羽咋小学校体育館のほかの7校もLEDにする計画があるのか。
- 金山補佐 : 現在建設中の、羽咋中学校体育館がLEDを採用している。ほかの6校は単体の水銀灯であり、耐震化の必要がなく、昇降機が壊れていないため現状のままとする。羽咋小学校の改修は国の有利な補助が利用できる。
- 若狭次長 : 非構造部材の耐震化による改修に併せLEDを採用した。
- 杉野課長 : 生涯学習課関係予算について詳細説明。
- 今井委員 : DV対策の予算が小さいようだが、具体的には何か。
- 杉野課長 : 専用の電話回線の電話料。庁内の連携を図っていきたい。
- 今井委員 : 図書館を指定管理にしているが、図書購入の選定はどのようにしているのか。
- 杉野課長 : 指定管理者が図書購入費の中で選定している。
- 井上委員長 : 少年育成センターの非常勤1名の業務内容は何か。補導センターの業務は行っていないのか。
- 杉野課長 : DVの相談対応、子ども会育成会、家庭教育推進協議会等の業務を行っている。補導センターの業務については、別の生涯学習課職員が担当している。
- 西村職務代理 : DV対策等の相談電話は別室で対応しているのか。
- 杉野課長 : 専用の相談室は持っていない。
- 井上委員長 : 相談の件数は何件もあるのか。
- 杉野課長 : 全体の相談は多い時で年間10件程度、内、DVは多くて3件程度。
- 高野室長 : 文化財室関係予算について詳細説明
- 今井委員 : 寺家遺跡の環境整備を行う計画だったが、どうなっているのか。
- 高野室長 : 周辺のシャコデ廃寺遺跡の調査を今年度行っているが、来年度以降に国の許可を得て公有化しようと考えている。28年度以降に土地購入の計画がある。
- 杉野課長 : スポーツ推進室関係予算について詳細説明。

- 今井委員 :ユーフォリア千里浜の工事請負費 1 億円の財源はどのような補助か。
- 杉野課長 : 社会資本整備事業の一環であり、過疎債等も使える。
- 金山補佐 : 羽咋中学校体育館を主としたリノベーション事業の周辺整備で行うもの。
- 西村職務代理 : ユーフォリア千里浜が指定管理になって、利用状況やサービスの状況はどうか。
- 杉野課長 : 指定管理の理由だけでなく利用人数は減少傾向にある。利用者を増やすため、サービスの工夫をするべきと思っている。
- 西村職務代理 : ユーフォリア千里浜の年間パス等の改善を図る予定があるか。
- 杉野課長 : 指定管理にしたばかりであり、年間パス等を含めた値上げなどは難しく、社員教育の徹底や施設の整備・点検を優先している。
- 井上委員長 : ユーフォリア千里浜の工事請負費 1 億円について、各工事の積み上げを行っていないのか。
- 杉野課長 : リノベーション事業の枠が決まっており、ユーフォリア千里浜の改修費に 1 億円が配分されたもの。これから設計を行い、優先度によって改修する。不良箇所をすべて改修するには 1 億円では足りない。
- 今井委員 : ユーフォリア千里浜の修繕計画は 3 ~ 4 億円だったと思う。
- 前田委員 : 観光客に寄ってもらえれば入場者が増えると思うが、レストハウスや浜茶屋の利用者に対し割引券の配布や P R を行っているのか。
- 杉野課長 : 指定管理者に運営は任せており、市は年 2 回のモニタリングを行っている。アイデアを出してもらっているが、P R は足りないかもしれない。
- 西村職務代理 : 地方版情報誌に掲載依頼をかければ、無料や低料金で P R できると思う。
- 井上委員長 : 市民駅伝祭開催事業の報償費は何か。
- 中越主幹 : メダル代、参加賞、陸協の協力金など。
- 井上委員長 : その他に質問がなく、第 2 号議案を承認する。
: 議案第 3 号平成 26 年度羽咋市一般会計補正予算について説明を求める。
- 若狭次長 : 学校教育課関係補正予算の詳細説明
- 杉野課長 : 生涯学習課関係補正予算の詳細説明
- 井上委員長 : 教育振興基金積立金は何に使っているのか。
- 若狭次長 : 今年度は、羽咋中学校体育館及び余喜小学校管理棟改築工事に 150 万円を繰り出す。
- 井上委員長 : 基金の残高は。

- 若狭次長 : 26 年度当初は 685 万円。
: ふるさと納税など、教育関係への寄付金を基金に積み立てる。
- 井上委員長 : その他に質問がなく、第 3 号議案を承認する。
< 休憩 >
- 井上委員長 : 会議を再開し、議案第 4 号羽咋市立博物館条例の制定について、議案第 5 号羽咋市文化財保護条例の全部改正について、議案第 6 号羽咋市立博物館の管理運営規則の制定について及び議案第 7 号羽咋市文化財保護条例施行規則の全部改正について一括して説明を求める。
- 高野室長 : 条例等の制定・改正について詳細説明
- 今井委員 : これまでの歴史民俗資料館は博物館としての要件を備えていないものが、博物館法の改正によって博物館として称することができたのか。
- 高野室長 : 要件を備えている施設であるが、羽咋市の条例では博物館法に基づく博物館でなかった。
- 今井委員 : 条例切り替えによる財源のメリットなどがあるのか。
- 高野室長 : 財源では特段のメリットはないが、国や県の登録博物館でないといけないことがある。
- 西村職務代理 : 資料館から博物館になることにより、名称が変わるのか。
- 高野室長 : 名称は変わらない。博物館条例の中に歴史民俗資料館が置かれる。仮に、美術館が設置されれば、この博物館条例の中に置かれることになる。
- 井上委員長 : 文化財保護条例中、文化的景観と伝統的建造物群に該当するものが羽咋市にあるのか。
- 高野室長 : 現状では羽咋市にはない。環境整備団体にならないと登録できない。
- 西村職務代理 : 同条文中「他の公益との調整に留意する」とあるが、民間の公益団体のことか。
- 高野室長 : 公的な土地開発や道路の築造等を行う際の調整であり、開発と保護の関係である。
- 井上委員長 : その他に質問がなく、第 4 号議案から第 7 号議案を承認する。
: 議案第 8 号羽咋市就学指導委員会規則の一部改正について説明を求める。
- 若狭次長 : 学校教育法施行令の改正により、教育支援委員会へ名称を変更することなどの一部改正であるとの説明
- 井上委員長 : 就学指導委員会は年に 1 回の開催か。
- 若狭次長 : 基本は年 1 回であるが、必要に応じて随時開催することがある。

- 西村職務代理：来年度、支援を必要とする子どもは何人ほどいるのか。
- 北山教育長：新規対象者は10人程度、総数は50人程度。来年度は、特別支援学級の数が増える予定。
- 井上委員長：その他に質問がなく、第8号議案を承認する。
：協議、報告事項について説明を求める。
- 濱田担当課長：携帯電話端末等の適切な利用について説明
：来年度早々、保護者に対し「携帯電話端末等の適切な利用」についてのお願いを配布予定である。校長会と市P連には説明し承認をもらった。
- 今井委員：携帯電話等に夜遅くまで関わっている現状があるため、是非文書を配布してほしいが、どれだけの効果があるのか危ぶまれる。定期的に保護者アンケートを実施し、実情を把握し対応してほしい。
- 前田委員：フィルタリングをかけるだけでは安心できない。このことを保護者にも周知してほしい。
- 濱田担当課長：いしかわ子ども総合条例で、基本的に子どもに携帯電話を持たせないよう努力することになっているが、どうしても持たせる必要がある場合に対応している。
- 前田委員：中学校は携帯電話等の持ち込みは禁止になっているはずだが、実際には持ち込んでいるようなので、見つけた時の対応を厳しくしてもよいのではないか。
- 濱田担当課長：小中学校で持ち込み禁止になっているが、学校には伝える。
- 井上委員長：市P連で話をしたとのことだが、反応はどうだったか。
- 濱田担当課長：市P連に出席した代表者をお願いした段階であり、それぞれのPTAに持ち帰ってから意見が出てくるかもしれない。
- 井上委員長：効果を上げるには保護者の協力が必須であり、保護者が積極的に対応しないと効果がない。単Pの状況を把握することが必要であり、アンケートなどを行い新たな取り組みが必要なのか見極めないといけない。
- 前田委員：携帯電話やネットトラブルの危険性について、具体的な犯罪の例をあげてアピールすればどうか。
- 濱田担当課長：各学校で子どもや保護者を対象とした講習などを行っているが、事例DVDを参考にしたい。
- 井上委員長：次の説明を求める。
- 杉野課長：峨山道トレイルラン開催の概要説明
- 今井委員：第1回の開催だが、次回はあるのか。あるとすれば事務局は羽咋市

になるのか。

杉野課長 : 第1回が成功すれば続くであろうが、門前から羽咋への逆コースも有り得る。

今井委員 : 次回、何年にやるか、どこが事務局を持つか具体的に決まっていな
いということか。

杉野課長 : はい。第2回があれば、他の市町にも協力を呼びかけたい。

西村職務代理 : 片道73kmのコースだが、帰りはどうするのか。

杉野課長 : 帰りはバスを運行する。

井上委員長 : 山道の整備やボランティアの募集は。

杉野課長 : ボランティアの募集は別途行っている。コースの整備は業者に委託
するが、スタッフが行うこともある。

西村職務代理 : 山道での健康面や安全面の対策は。

杉野課長 : 休憩所が6か所あり、チェックポイントになっている。案内看板を
立てトランシーバーを持ったスタッフを配置し、脱落者は車で搬送
する。

井上委員長 : 次の説明を求める。

高野室長 : 羽咋市指定文化財保存事業等に関する補助金交付要綱の制定は、条
例等の改正に伴い定めるものである。

: 石川県指定無形民俗文化財に、唐戸山神事相撲が指定を受けた。

井上委員長 : 補助金の交付要綱は、これまでになかったのか。

高野室長 : 具体的な限度額を書いたものがなかった。

井上委員長 : 次の説明を求める。

濱田担当課長 : 平成26年度市内小中学校卒業証書授与式の臨席と告辞のお願い。

井上委員長 : 次の説明を求める。

金山補佐 : 平成27年第1回羽咋市議会定例会の日程説明。

井上委員長 : 教育長報告を求める。

北山教育長 : 1月に開催された県の教育長会議についての報告

: 2020年指導要領の全面改定の説明

: 教育委員会制度改正について、他市町の状況等を説明

今井委員 : 大綱は27年度に作るのか。

北山教育長 : はい。条例改正も行う必要がある。

金山補佐 : 大綱は総合教育会議で決定することになるが、現在の市総合計画や
教育方針などを大綱にすることを考えている。

: 条例改正を行う際は、経過措置を盛り込む。

井上委員長 : 第1回の総合教育会議はいつ頃を予定しているのか。

- 金山補佐 : 4月か5月に予定している。
- 井上委員長 : その他について説明を求める。
- 金山補佐 : 3月に3回の委員会を開催する。急な案内になると思うが、出席願う。
- 西村職務代理 : 中学1年生殺害事件に関連し、不登校の対応として、これまで以上に気をかける必要がある。
- 井上委員長 : 不登校の様子は、学校から教育委員会に報告があると思うが、心配な内容があるか。
- 濱田担当課長 : 学校から保護者に連絡を取って対応している。
- 井上委員長 : 教育委員としてできることがあれば積極的にアクションを起こしていくことも大事である。委員と事務局の共通理解が必要である。子ども達のために、何ができるか考えていきたい。

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午前11時55分閉会

平成27年 第2回羽咋市教育委員会 / 会議録

- 1 日 時 平成27年3月13日(金)
開 会 午後 4時25分
閉 会 午後 4時35分
- 2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室
- 3 出 席 者 委 員 長 井 上 克 彦
委員長職務代理者 西 村 麗 子
委 員 前 田 美 佳
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎
- 4 職務のため出席した者
教 育 次 長 若 狭 義 高
学務担当課長 濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐 金 山 幸 富
- 5 付 議 案 件
(1) 議案第9号 平成27年度羽咋市学校教職員(管理職等)の人事について
(2) その他
- 6 会議の概要 別紙のとおり。
- 7 会議の結果 議案第9号を原案どおり承認した。

平成27年3月13日

羽咋市教育委員会

会議の概要

井上委員長 : 開会のあいさつをし、日程に従い前回議事録の承認を促した。

金山補佐 : 前回会議録について、不足、不備がないか聞き、承認を得た。

井上委員長 : 議案第9号平成27年度羽咋市学校教職員(管理職等)の人事異動について説明を求める。

(若狭教育次長、金山課長補佐退室)

濱田担当課長 : 平成27年度羽咋市学校教職員(管理職等)の人事についての原案を提示し、教育委員の承認を得た。

(若狭教育次長、金山課長補佐入室)

井上委員長 : 教育長報告を求める。

北山教育長 : 特になし。

井上委員長 : その他案件について説明を求める。

金山補佐 : 4月の委員会を4月9日(木)の午前9時に行いたい。歓送迎会は、委員の交代がないため行わない。

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午後4時35分閉会

平成27年 第3回羽咋市教育委員会 / 会議録

- 1 日 時 平成27年3月20日(金)
開 会 午前 9時00分
閉 会 午前 9時45分
- 2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室
- 3 出席者 委 員 長 井 上 克 彦
委員長職務代理者 西 村 麗 子
委 員 前 田 美 佳
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎
- 4 職務のため出席した者
教 育 次 長 若 狭 義 高
学務担当課長 濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐 金 山 幸 富
- 5 付議案件
(1) 議案第10号 平成27年度羽咋市学校教職員(一般教職員)の人事異動について
- 6 協議、報告事項
(1) 羽咋市学力調査の結果について
(2) その他
- 7 会議の概要 別紙のとおり。
- 8 会議の結果 議案第10号を原案どおり承認した。

平成27年3月20日

羽咋市教育委員会

会議の概要

井上委員長 : 開会のあいさつをし、日程に従い前回議事録の承認を促した。

金山補佐 : 前回会議録を回覧するので確認願う。

井上委員長 : 議案第 10 号平成 27 年度羽咋市学校教職員（一般教職員）の人事異動について説明を求める。

（若狭教育次長、金山課長補佐退室）

濱田担当課長 : 平成 27 年度羽咋市学校教職員（一般教職員）の人事についての原案を提示し、教育委員の承認を得た。

（若狭教育次長、金山課長補佐入室）

井上委員長 : 協議、報告事項について説明を求める。

濱田担当課長 : 羽咋市学力調査の結果について詳細説明。

（資料配布、質疑後回収）

今井委員 : 今回の学力調査の特徴は。

濱田担当課長 : 高いレベルにあり、国県の学力調査の対策となる。

井上委員長 : この結果から、課題があるか。

北山教育長 : 分析内容は、各校に配布してある。

今井委員 : 低い点数の科目があるので心配。

井上委員長 : 小学校と中学校のつながりが重要。

北山教育長 : 小中の交流は行っているが、工夫が必要だと考えている。

西村職務代理 : 羽咋中学校の卒業式は落ち着いた雰囲気だった。

: 学力を上げる工夫が必要。

濱田担当課長 : 小学校と中学校それぞれの視点で考えていかなければならない。

井上委員長 : 先生の授業のやり方が重要なポイントである。

: 教育長報告を求める。

北山教育長 : 特になし。

井上委員長 : その他案件について説明を求める。

金山補佐 : 次回の委員会は 3 月 24 日（火）午後 1 時から開催する。

: 次々回の委員会は 4 月 9 日（木）午後 9 時から開催する。

濱田担当課長 : 4 月の入学式、教職員辞令交付式及び校長会・教頭会・教育委員会合同歓送迎会の出席依頼。

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午前 9 時 45 分閉会

平成27年 第4回羽咋市教育委員会 / 会議録

1 日 時 平成27年3月24日(火)
開 会 午後 1時00分
閉 会 午後 1時50分

2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室

3 出席者 委 員 長 井 上 克 彦
委 員 前 田 美 佳
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎

4 欠 席 者 委員長職務代理者 西 村 麗 子

5 職務のため出席した者

教 育 次 長	若 狭 義 高
学務担当課長	濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐	金 山 幸 富
文化財室長補佐	若 狭 康 子
生涯学習課長	杉 野 和 明
生涯学習課課長補佐	中 野 好 一
生涯学習課主幹	滝 口 一 彦
生涯学習課主幹	中 村 茂 樹
スポーツ推進室主幹	中 越 繁 樹

6 付議案件

- (1) 議案第11号 平成27年度羽咋市教員委員会事務局管理職等の人事異動について
- (2) 議案第12号 公民館長の任命について

7 協議、報告事項

- (1) 平成27年度羽咋教育ビジョンの重点について
- (2) その他

- 8 会議の概要 別紙のとおり。
- 9 会議の結果 議案第 11 号から第 12 号を承認した。

平成 2 7 年 3 月 2 4 日

羽咋市教育委員会

【会議の概要】

- 井上委員長 : 開会のあいさつをし、日程に従い前回議事録の承認を促した。
- 金山補佐 : 前回会議録を回覧するので確認願う。
- 井上委員長 : 議案第 11 号平成 27 年度羽咋市教員委員会事務局管理職等の人事異動について説明を求める。
(若狭教育次長を除く事務局職員退室)
- 若狭次長 : 平成 27 年度羽咋市教員委員会事務局管理職等の人事異動について原案を提示し、教育委員の承認を得た。
(若狭教育次長を除く事務局職員入室)
- 井上委員長 : 議案第 12 号公民館長の任命について説明を求める。
- 杉野課長 : 3 名の公民館長の任命について説明。2 年任期である。
- 井上委員長 : 意見を求める。
- 今井委員 : 任命権者は誰か。
- 杉野課長 : 教育長の推薦により、教育委員会が任命する。
- 井上委員長 : 再任は何回まで可能なのか。
- 杉野課長 : 回数、年数の規定はない。
- 井上委員長 : その他、特に意見がなく承認する。
: 教育長報告を求める。
- 北山教育長 : 特になし
- 井上委員長 : 協議、報告事項について説明を求める。
- 濱田担当課長 : 羽咋教育ビジョンの重点、学びと育ちのアプローチについて、別紙資料により説明。
: 今後、全教職員に配布する。
- 今井委員 : 県委託事業の確認。
- 濱田担当課長 : 能動的学習推進事業は羽咋小が指定校、組織的実践推進事業は邑知小が拠点校となり、余喜小と邑知中が協力校になる。道徳推進事業は粟ノ保小が指定校となる。
- 井上委員長 : 組織的実践推進事業は教育ビジョンのどこに入るのか。
- 濱田担当課長 : 組織的な協働の中に含み、県の事業内容は学校間の連携だと考えている。
- 北山教育長 : 小中連携を含めて、学力向上の効果を上げる取り組みである。
- 井上委員長 : この事業は、他市町でも行うのか。
- 濱田担当課長 : はい。羽咋市では邑知ブロック(中学校区)での取り組みとなる。
- 井上委員長 : この事業の要綱の趣旨は。
- 濱田担当課長 : 県内全市町に拠点校及び連携校を指定し、いしかわ学びの指針 12

か条に基づき、教員の意識改革及び指導力向上の取り組み、並びに児童生徒一人ひとりの学力向上の取り組みを組織的かつ継続的に推進できる体制づくりを通して、各市町及び学校における安定的な学力向上のシステムの確立を図る。

井上委員長 : この内容では、ブロック単位で何かを行おうとするものではないようだが。

濱田担当課長 : 具体的な取り組みが3つある。 学力向上のための持続的な組織づくりの推進、 学力向上ロードマップの策定・実施、 研究成果の発信。

井上委員長 : 小中学校9年間を見通した組織な学力向上の取り組みを考えているのだろうか。

濱田担当課長 : いろいろな連携のあり方があるようである。

井上委員長 : 平成27年度の新たな目玉はどれになるのか。

北山教育長 : クローバープロジェクトの学力向上のアクティブ・ラーニングの取り組み、学びと育ちのアプローチの生活ルールの中で、児童会・生徒会活動に任せる取り組みになる。

井上委員長 : ライン等に関することは、どこかに書かれているのか。

北山教育長 : ビジョンの中では具体的に書かれていない。

濱田担当課長 : 入れるとすれば、道徳教育か健康に関する指導の中になると思う。

井上委員長 : 食育・安全教育の充実の中に、ライン等の使い方等について入れられないか。世の中の流れの中で、重要なことは追加したほうが良い。

濱田担当課長 : 例えば、通信機器の使用の仕方を追加することができる。

井上委員長 : 生活習慣の乱れを防ぎ、友達関係の悪化を防ぐため、学校の中で指導していくことを書けばよい。

今井委員 : 4つのクローバーの各スローガンは、羽咋教育ビジョンの見出しに沿ったものか。であるなら、クローバーの内容を修正する場合には、教育ビジョンも変えなければならないのではないかと。点検が必要。

井上委員長 : 羽咋教育ビジョンの重点の下に具体策があるのか。

濱田担当課長 : 具体策はないが、この重点はビジョンのダイジェストである。

北山教育長 : 基本となるビジョンは10年ごとの見直しになっている。このダイジェストで年度の対応をしている。

今井委員 : 羽咋教育ビジョンは、何年に作成し何年までのものか。

北山教育長 : 指導要領の改定の際に変えたものである。今後、指導要領の改訂の際に見直しする予定。

若狭次長 : ビジョンは基本計画であり、ダイジェストは行動計画のようなもの

である。

井上委員長 : 10年間使える基本計画なら良い。このダイジェストは毎年の情勢によって変えることができるものなのか。

北山教育長 : そのようにしたい。

今井委員 : 羽咋教育ビジョンの大筋を変更することなく、毎年の重点が示されることができればこれでよい。

: 毎年の行動目標であるのなら、重点は、その年の情勢に応じて変えていけるのか。

濱田担当課長 : そのように捉えている。

井上委員長 : 言葉の使い方であるが、これが教育ビジョンの「ダイジェスト」ではおかしい。「今年の行動目標」であれば納得できる。

: ライン等に関することを、重点のどこに入れるか検討してほしい。

: 学びと育ちのアプローチのペーパーはどのように使うのか。

濱田担当課長 : ビジョンの重点と一緒に全教職員に配布し、基本的な授業づくりの視点として意識の共有化ができるよう、校長から指導してもらおう。

井上委員長 : ビジョンの重点とアプローチの関係は。

濱田担当課長 : 一部でリンクしている。

井上委員長 : 学びと育ちのアプローチを出す位置づけを先生方に説明する必要がある。小中の連携・組織としての機能を含め、学力向上に向けてのアプローチであり、ビジョンの一つの手立てとしての位置づけであることを入れればよいと思う。

前田委員 : 情報機器の内容を重点のどこに入れるかだが、人材育成の中に入れればよいと思う。正しく使うと、知識が身に付き交流につながる。危険性と正しい使い方を教えてほしい。

北山教育長 : ビジョンは指導する立場である。教員の視点で書いてある。

: 先生の指導方法や子どもたちのモラルに期待すること、保護者・家庭にお願いすることについては、この重点に書ききれない。

井上委員長 : 家庭との連携か、安全教育にするか、事務局で考えてほしい。

: その他案件について説明を求める。

金山補佐 : 次回の委員会は、4月9日(木)午前9時から組織会を開催する。

濱田担当課長 : 4月1日の教職員辞令交付式の出席依頼。

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午後1時50分閉会

平成27年 第5回羽咋市教育委員会 / 会議録

1 日 時 平成27年4月9日(木)
開 会 午前 9時00分
閉 会 午前 9時20分

2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室

3 出 席 者 委 員 長 井 上 克 彦
委員長職務代理者 西 村 麗 子
委 員 前 田 美 佳
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎

4 職務のため出席した者

教育次長兼学校教育課長	若 狭 義 高
学校教育課学務担当課長	濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐	金 山 幸 富
文化財室長	高 野 誠 鮮
文化財室参事	若 狭 康 子
生涯学習課長	勝 田 永 彦
生涯学習課課長補佐	和 田 美 紀
生涯学習課主幹	中 村 茂 樹
生涯学習課主幹	石 山 裕 樹
スポーツ推進室主幹	滝 口 一 彦

5 付議案件

(1) 議案第13号 羽咋市教育委員会教育委員長選挙について

- 6 会議の概要 別紙のとおり。
- 7 会議の結果 議案第 13 号は委員による協議により、井上委員長が再任された。

平成 27 年 4 月 9 日

羽咋市教育委員会

会議の概要

- 井上委員長 : 開会のあいさつをし、本委員会出席者の紹介を促した。
- 若狭次長 : 本委員会出席者の紹介を行う。(委員紹介、事務局の自己紹介)
- 井上委員長 : 日程に従い前回会議録の承認を促した。
- 金山補佐 : 前回会議録について、不足、不備がないか聞き、承認を得た。
- 井上委員長 : 議案第13号について説明を求める。
- 若狭次長 : 井上委員長の任期が4月10日で満了することを報告し、議案第13号議案は委員長選挙である旨説明する。
: 委員長の任期は平成27年4月11日から平成28年4月10日までの1年間となり、無記名投票か氏名推薦の方法がある。
- 井上委員長 : 第13号議案を議題とし委員長選挙を行う。選挙方法について意見を求める。
- 今井委員 : 指名推薦で行うことを提案する。
- 井上委員長 : 協議の結果、指名推薦によることとし、指名推薦について発言を求める。
- 今井委員 : 現、井上委員長にお願いしたい。
- 金山補佐 : 自己に関する事件等は議事に参加することができないが、教育委員会の同意があれば議事に参加できることを説明し、協議の結果、井上委員長は同席することになる。
- 井上委員長 : 協議の結果、全員一致で委員長に「井上委員」が再任される。
: 委員長挨拶。
- 若狭次長 : 委員長の任期は1年だが、井上委員長の委員としての任期が平成27年12月20日なので、委員長の任期も同日となる。
- 金山補佐 : 12月の任期満了後に委員長選挙を行うが、ここで委員長が選任されてから1年間の任期となる。
: 教育委員の任期満了後、再任されたとしても、委員としての任期が切れてしまうので、委員長選挙を行わなければならない。
- 井上委員長 : 教育長報告を求める。
- 北山教育長 : 特になし。
- 井上委員長 : その他について説明を求める。
- 金山補佐 : 平成27年度の年間行事と教委連定期総会の資料を配布したので確認願う。
: 総合教育会議は、5月か6月に開催する予定。大綱の決定と意見交換になる。
- 今井委員 : 小学校運動会の視察日程は。

濱田担当課長：日程調整を行い、改めて案内する。

井上委員長：総合教育会議に出す議案は、教育委員会が作るのか。

若狭次長：総合教育会議は市長部局が開催することになり、議案も市長部局が作成することが基本であるが、教育委員会からも提出できる。

金山補佐：市長部局が総合教育会議を開催し、教育委員会部局が事務を行うものになる。

井上委員長：議案を前もって見ることができるのか。

若狭次長：意見交換が主なものになる。

西村職務代理：総合教育会議の前に教育委員会で協議することがないのか。

井上委員長：会議資料を前もって見せてもらいたい。日程調整を願う。

金山補佐：日程を調整して開催したい。

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午前9時20分閉会

平成27年 第6回羽咋市教育委員会 / 会議録

1 日 時 平成27年5月21日(木)
開 会 午後 1時30分
閉 会 午後 2時35分

2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室

3 出席者 委 員 長 井 上 克 彦
委員長職務代理者 西 村 麗 子
委 員 前 田 美 佳
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎

4 職務のため出席した者

教育次長兼学校教育課長 若 狭 義 高
学校教育課学務担当課長 濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐 金 山 幸 富
文化財室長 高 野 誠 鮮
文化財室参事 若 狭 康 子
生涯学習課長 勝 田 永 彦
生涯学習課課長補佐 和 田 美 紀
生涯学習課主幹 中 村 茂 樹
生涯学習課主幹 石 山 裕 樹
スポーツ推進室主幹 滝 口 一 彦

5 付議案件

- (1) 議案第14号 平成27年度羽咋市一般会計補正予算(教育費)について
- (2) 報告第1号 平成27年度専決処分の報告(学校評議員の委嘱について)
- (3) 報告第2号 平成27年度専決処分の報告(学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について)
- (4) 報告第3号 平成27年度専決処分の報告(公民館運営審議委員の委嘱について)

(5) 報告第 4 号 平成 2 7 年度専決処分の報告 (羽咋市博物館協議会委員の委
嘱について

6 協議、報告事項

- (1) 平成 2 7 年度羽咋市一般会計専決補正 (教育費) について
- (2) 教育委員学校訪問日程について
- (3) 平成 2 7 年第 2 回羽咋市議会定例会日程について
- (4) 羽咋市総合教育会議について
- (5) その他

7 会議の概要 別紙のとおり。

8 会議の結果 議案第 1 4 号及び報告第 1 号から報告第 4 号を原案のとおり承認した。

平成 2 7 年 5 月 2 1 日

羽咋市教育委員会

会議の概要

- 井上委員長 : 開会のあいさつをし、日程に従い前回会議録の承認を促した。
- 金山補佐 : 前回会議録について、不足、不備がないか聞き、承認を得た。
- 井上委員長 : 議案第14号平成27年度羽咋市一般会計補正予算(教育費)について説明を求める。
- 若狭次長 : 歳入歳出の総括について説明。県委託事業「学びの組織的実践推進事業」「能動的学習推進事業」による400千円の増額補正について詳細説明
- 勝田課長 : コミュニティ助成事業2,500千円の増額補正について、吉崎町町会へ獅子舞用具一式の補助金であることの詳細説明
- 井上委員長 : 質疑、意見を求める。
: 学びの組織的実践推進事業は拠点校と協力校があるが、200千円の配分はどうなるのか。
- 濱田担当課長 : 拠点校だけとなる。
- 井上委員長 : その他特に質問がなく、議案第14号を承認する。
: 報告第1号から第4号の説明を求める。
- 金山補佐 : 平成27年度専決処分「学校評議員の委嘱」「学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱」の報告
- 勝田課長 : 平成27年度専決処分「公民館運営審議会委員の委嘱」の報告
- 高野室長 : 平成27年度専決処分「博物館協議会委員の委嘱」の報告
- 井上委員長 : 質疑、意見を求める。
- 今井委員 : 公民館運営審議会委員の人数が少ない公民館があるがなぜか。
- 勝田課長 : 任期中で、委員の交代があった者の委嘱であるため。
- 前田委員 : 一ノ宮公民館と上甘田公民館の両方に西北台小学校校長が運営審議委員として入っているが、兼任できるのか。
- 勝田課長 : 公民館の運営審議委員は兼任できる。
- 西村職務代理 : 学校評議員について、子どもたちを守る観点から中学校でも民生委員や主任児童を入れれば良いのではないかと昨年度も話をしたが、入らなかったのか。
- 金山補佐 : 学校が評議員を推薦するものであり、学校には話をしていたが、民生委員等は入っていなかった。
- 西村職務代理 : 来年度以降も中学校の評議員に民生委員や主任児童委員は入らないのか。
- 金山補佐 : 来年度の委員構成がどうなるかわからないが、再度、学校に話をする。

西村職務代理：何か問題があった時に、民生委員や主任児童委員が知らなかったということがあったので、委員選考を検討してほしい。

井上委員長：中学校の学校評議員については、教育委員会で委員から話があったことを伝えてほしい。
：その他特に質問がなく、報告第1号から第4号を承認する。
：協議、報告事項について説明を求める。

若狭次長：平成26年度一般会計専決補正の歳入歳出の総括及び学校教育課所管分について説明。事業費の確定により主に不用額を減額するもの。

井上委員長：質疑、意見を求める。

今井委員：就学援助費について、最近の傾向はどうか。

若狭次長：中学校の決算額を示し、増加傾向にある。

西村職務代理：中学校通学援助について、バス、電車の通学補助の減額であるが、羽咋中学校はスクールバスを運行しているのではなかったか。

若狭次長：平成27年度から中学校のスクールバスを運行しており、JR利用者にも全額補助をしている。この補正は26年度分であるため、補助金の減額を行ったもの。

井上委員長：日本スポーツ振興センター交付金のしくみを教えてほしい。

若狭次長：歳入・歳出を当初予算で計上しているが、事故件数が少なかったため減額補正を行う。

勝田課長：続いて、生涯学習課、スポーツ推進室所管分について説明

高野室長：同じく、文化財室所管分について説明

井上委員長：質疑、意見を求める。

今井委員：羽咋公民館の委託料を減額する内容を聞く。

勝田課長：この委託料は、羽咋公民館が休館日である月曜日に開館する場合、シルバー人材センターに受付委託するものだが、この残額である。

井上委員長：羽咋公民館の月曜日開館は、要望によるものか。

勝田課長：はい。月曜日に定期的な教室もある。

金山補佐：平成27年第2回羽咋市議会定例会日程について説明

濱田担当課長：教育委員学校訪問日程について説明

井上委員長：羽咋小と羽咋中の時間が短いのではないか。

前田委員：新しくなった羽咋中体育館と余喜小校舎棟を見学する時間はあるか。

濱田担当課長：余裕があれば見学できるが、その時の状況による。

西村職務代理：大規模校と小規模校では訪問する時間に差があってもよいと思う。

濱田担当課長：大規模校は予定時間より延びることがある。

井上委員長：終了時間は3時30分に決まっているのか。

- 濱田担当課長：目安として考えてほしい。
- 井上委員長：羽咋小と羽咋中の授業をよく見たいので、今年度の結果により来年度の予定を組んでほしい。
- 若狭次長：羽咋中と余喜小は外構工事を行っており、10月頃に竣工式を予定している。
- 西村職務代理：一般公開の予定は。
- 若狭次長：今のところ計画していないが、随時の見学については学校で対応している。
- 金山補佐：市長部局の総務課は6月19日(金)に総合教育会議を開催する予定にしており、第5次羽咋市総合計画を基本とした大綱を決めた後は意見交換となる。
- 井上委員長：市総合計画から教育委員会関係を抜き出して大綱を作るのか。
- 金山補佐：市総合計画そのものを大綱とすることもある。
- 若狭次長：既存の計画を大綱に代えることができることになっている。
- 今井委員：全ての自治体で大綱を作るようになっており、他自治体との情報交換が必要。市総合計画から抜粋した大綱を作成するのも検討の余地がある。
- 西村職務代理：総合教育会議で、大綱のまとめたものを基に議論するのか。
- 金山補佐：具体的なものは決まっていない。
：教育基本計画も市総合計画を基にしている。
- 北山教育長：教育基本計画は作成することに努めることになっている。
- 今井委員：既存の計画が大綱に沿うものであれば、新たに作成するほどではないと思うが、別冊にするか事務局で検討して。
- 北山教育長：総合教育会議では、大綱を決めることをお願いする。
- 若狭次長：大綱の形については事務局で検討する。
- 井上委員長：その他、特に質問がなく終了する。
：教育長報告を求める。
- 北山教育長：全国植樹祭や各種行事の出席お礼。
：教育委員学校訪問など出席のお願い。
- 井上委員長：その他について説明を求める。
- 勝田課長：市民体育大会の概要説明と、開会式・閉会式の出席並びに競技の応援を依頼。後日案内する。
- 高野室長：妙成寺及びノギワ・バンドウマエ遺跡調査結果報告書と歴史民俗資料館企画展のチラシを配布し、観覧を依頼する。
- 金山補佐：羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員の推薦依頼があっ

た。保護者の教育委員である前田委員の推薦希望があり、本人の内諾を得ているので、前田委員を推薦したい旨説明し、了解を得る。

: 次回の委員会は、中学校教科用図書採択のため7月下旬から8月上旬に開催し、その後8月下旬にも開催する。状況に応じて適宜開催する。

: クールビズの取り組みとして、6月から9月の委員会は上着を自由とし、ノーネクタイを可としたい。

北山教育長 : 中学校教科用図書採択の今後の予定については、後程説明する。

井上委員長 : 8月3日に教科書採択協議会が開催される予定であり、この日以降の開催になる。

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午後2時35分閉会

平成27年 第7回羽咋市教育委員会 / 会議録

- 1 日 時 平成27年8月12日(水)
開 会 午前 10時00分
閉 会 午前 11時10分
- 2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室
- 3 出 席 者 委 員 長 井 上 克 彦
委員長職務代理者 西 村 麗 子
委 員 前 田 美 佳
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎
- 4 職務のため出席した者
教育次長兼学校教育課長 若 狭 義 高
学校教育課学務担当課長 濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐 金 山 幸 富
- 5 傍 聴 人 数 4 人
- 6 付 議 案 件
(1) 議案第15号 中学校教科用図書採択について
- 7 協議、報告事項
(1) 平成27年第3回羽咋市議会定例会日程について
(2) その他

- 8 会議の概要 別紙のとおり。
- 9 会議の結果 議案第15号の教科用図書を協議により採択した。

平成27年8月12日

羽咋市教育委員会

会議の概要

井上委員長 : 開会のあいさつをし、本会議の傍聴希望が4名いることを説明し、協議の結果、傍聴を認めることとした。

(傍聴人入室)

井上委員長 : 傍聴人に「羽咋市教育委員会傍聴人規則」の遵守を依頼。

: 日程に従い、前回会議録の承認を促した。

金山補佐 : 前回会議録について、不足、不備がないか聞き、2か所訂正によることで承認された。

井上委員長 : 議案第15号中学校教科用図書採択について、委員には教科用図書の見本を見てもらったが、羽咋地区教科用図書採択協議会での意見や資料を参考にし、各教科の教科用図書をこの場で採択したい。

(協議)事務局から、教科ごとに羽咋地区教科用図書採択協議会から推薦された2社を説明し、協議の結果、以下の教科用図書を採択した。

国語 光村図書出版(株)

書写 光村図書出版(株)

社会(地理) 東京書籍(株)

地図 (株)帝国書院

社会(歴史) 東京書籍(株)

社会(公民) 東京書籍(株)

数学 東京書籍(株)

理科 東京書籍(株)

- 休憩 - (傍聴人退室)

音楽(一般) (株)教育芸術社

音楽(器楽合奏) (株)教育芸術社

美術 光村図書出版(株)

保健体育 東京書籍(株)

技術・家庭 東京書籍(株)

英語 東京書籍(株)

井上委員長 : 教育長報告を求める。

北山教育長 : 特になし。

井上委員長 : その他について説明を求める。

金山補佐 : 平成27年第3回羽咋市議会定例会日程について説明。

: 次回委員会の開催日程の確認。

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午前11時10分閉会

平成27年 第8回羽咋市教育委員会 / 会議録

1 日 時 平成27年8月27日(木)
開 会 午前 10時00分
閉 会 午前 10時40分

2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室

3 出席者 委 員 長 井 上 克 彦
委員長職務代理者 西 村 麗 子
委 員 前 田 美 佳
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎

4 職務のため出席した者

学校教育課学務担当課長 濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐 金 山 幸 富
文化財室長 高 野 誠 鮮
文化財室参事 若 狭 康 子
生涯学習課長 勝 田 永 彦
生涯学習課課長補佐 和 田 美 紀
生涯学習課主幹 石 山 裕 樹
スポーツ推進室主幹 滝 口 一 彦

5 付議案件

(1) 議案第16号 平成27年度羽咋市一般会計補正予算(教育費)について

6 その他

- (1) 小・中学生の全国大会、北信越大会の成績について
- (2) 石川県民体育大会について
- (3) 国・県学力調査の結果について
- (4) その他

- 7 会議の概要 別紙のとおり。
- 8 会議の結果 議案第16号を原案のとおり承認した。

平成27年8月27日

羽咋市教育委員会

会議の概要

- 井上委員長 : 開会のあいさつをし、日程に従い前回会議録の承認を促した。
- 金山補佐 : 前回会議録について、不足、不備がないか聞き、承認を得た。
- 井上委員長 : 議案第16号平成27年度羽咋市一般会計補正予算（教育費）について説明を求める。
- 金山補佐 : 歳入歳出の総括について説明。
: 学校版 ISO の4小学校認定による400千円の増額補正、小中学校スクールバス運行費の組替補正、中学校部活動支援事業821千円の増額補正について詳細説明
- 井上委員長 : 質疑、意見を求める。
- 今井委員 : スクールバスの運行について、シルバー人材センターの派遣から直接雇用になるようだが、来年度以降も同じ形態となる場合、運転手の確保は大丈夫か。
- 金山補佐 : 労働者派遣法により、シルバー人材センターから派遣されなくなるが、市から直接これまでの運転手に依頼するため、運行には支障ない。
- 井上委員長 : 引き続き説明を求める。
- 勝田課長 : コスモアイル羽咋舞台照明昇降機修繕料1,134千円、峨山道トレイルラン実行委員会補助金500千円、眉丈台地スポーツ広場の乗用芝刈機購入費1,000千円、ユーフォリア千里浜改修費235,879千円の各増額補正について詳細説明
- 井上委員長 : 質疑、意見を求める。
- 今井委員 : ユーフォリア千里浜改修費の財源内訳で、その他216,921千円とは何か。
- 勝田課長 : 環境省の関係である日本環境協会からの補助金である。
- 今井委員 : 来年度、第2回峨山道トレイルランを行うのか。
- 勝田課長 : 今年度のトレイルラン後の新聞で、来年度は逆コースで開催との報道があり、前向きに検討しているところであるが、明日、実行委員会が開催され、方向が決まるものと思われる。
- 井上委員長 : ユーフォリア千里浜の改修は、当初の予定と方向性が変わってきたのか。
- 勝田課長 : 当初予算では20,000千円の建築改修を含んでいたが、環境省関係の補助金は設備が優先され、空調・給湯・昇温の目に見えない設備改修になる。設備改修の休館中に、目に見える建築の修繕も行えないか検討している。

井上委員長 : 環境省関係の補助金は CO2 削減に係るものだけであり、建物改修には使えないということか。

勝田課長 : はい。

: 当初予算は、エコ改修・老朽化対策耐震化のためであったが、環境省関係の補助金では、熱源を灯油から電化システムに変更するものになった。

井上委員長 : 利用者は、使いにくい設備の改修や老朽化した施設の改修を望んでいるのではないか。

西村職務代理 : 目に見える改修がないと利用者は納得しないのではないか。見た目できれいになる所がほしい。

勝田課長 : 改修工事の休館中、指定管理費に含む修繕料で目に見える部分の修繕ができるか、指定管理者と協議する。

井上委員長 : その他特に質問がなく、議案第 16 号を承認する。

: 教育長報告を求める。

北山教育長 : 特になし。

井上委員長 : その他について説明を求める。

金山補佐 : 中学生の全国・北信越大会の成績報告。

勝田課長 : 中体連以外のスポーツ団体の全国・北信越大会の成績報告。

: 石川県民体育大会の成績報告。

濱田担当課長 : 別紙資料を配布し、国・県学力調査結果の説明。会議後に回収。

井上委員長 : 結果が出たばかりであり、教育委員会と学校で精査するだろうが、点数の低い教科については学校とも相談し、財政面で支援できることがあれば検討してほしい。

金山補佐 : 次回委員会の確認。

: 教育委員会事務の点検・評価の勉強会について、評価委員と合同のヒアリングではどうかと提案し了承を得る。

: 川北町で開催される教委連研究大会の確認。

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午前 10 時 40 分閉会

平成27年 第9回羽咋市教育委員会 / 会議録

1 日 時 平成27年11月25日(水)
開 会 午前 10時00分
閉 会 午前 11時40分

2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室

3 出 席 者 委 員 長 井 上 克 彦
委 員 前 田 美 佳
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎
(欠 席 委 員) 西 村 麗 子

4 職務のため出席した者

教育次長兼学校教育課長	若 狭 義 高
学校教育課学務担当課長	濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐	金 山 幸 富
文化財室長	高 野 誠 鮮
文化財室参事	若 狭 康 子
生涯学習課長	勝 田 永 彦
生涯学習課課長補佐	和 田 美 紀
生涯学習課主幹	中 村 茂 樹
生涯学習課主幹	石 山 裕 樹
スポーツ推進室主幹	滝 口 一 彦

5 付議案件

- (1) 議案第17号 平成27年度羽咋市一般会計補正予算(教育費)について
- (2) 議案第18号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書
(平成26年度事務事業分)について

6 協議、報告事項

- (1) ユーフォリア千里浜改修事業について
- (2) 平成27年第5回羽咋市議会定例会日程について

7 その他

(1) いじめ・不登校に関する調査報告について

(2) その他

8 会議の概要 別紙のとおり。

9 会議の結果 議案第17号及び18号を原案のとおり承認した。

平成27年11月25日

羽咋市教育委員会

会議の概要

- 井上委員長 : 開会のあいさつをし、日程に従い前回会議録の承認を促した。
- 金山補佐 : 前回会議録について、不足、不備がないか聞き、承認を得た。
- 井上委員長 : 議案第17号平成27年度羽咋市一般会計補正予算（教育費）について説明を求める。
- 若狭次長 : 歳入歳出の総括について説明。
: 学校教育課事務局職員費 2,625 千円の減額補正、中学校用務員報酬 5 千円の増額補正について詳細説明
- 勝田課長 : 生涯学習課事務局職員費 7,024 千円の減額補正、公民館主事報酬の組み替えについて詳細説明
- 高野室長 : 文化財室事務局職員費 340 千円の増額補正、樹木伐採による工事請負費 405 千円の増額補正、県史協補助事業による需用費 81 千円の増額補正について詳細説明
- 勝田課長 : スポーツ推進室事務局職員費 3,168 千円の減額補正について詳細説明
- 井上委員長 : 質疑、意見を求める。
- 今井委員 : 事務局職員費の減額は、4月の人事異動によるものか。
- 若狭次長 : はい。
- 今井委員 : 文化財室事務局職員費の増額は、時間外勤務手当の増額であるとのことだが、どのような内容か。
- 高野室長 : シャコデ遺跡の発掘調査報告書を時間外に作成するためであり、日中は発掘現場に出ているため、事務は勤務時間外になってしまう。
- 井上委員長 : その他特に質問がなく、議案第 17 号を承認する。
: 次に、議案第 18 号の説明を求める。
- 金山補佐 : 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（平成 26 年度事務事業分）について詳細説明。（別冊の報告書）
- 井上委員長 : 質疑、意見を求める。
: 本日欠席している西村委員から、何点か質疑・意見を預かっているので、担当課の説明を求める。
（質疑応答）
- 井上委員長 : その他特に意見がなく、議案第 18 号を承認する。
: 協議、報告事項について説明を求める。
- 勝田課長 : ユーフォリア千里浜改修事業の内容説明。12月1日から2月10日まで、工事のため臨時休館となる。
- 今井委員 : 補助対象外の工事については一般財源か。

- 勝田課長 : 4千万円ほどが補助対象外であり、過疎債を利用する。
- 今井委員 : 燃料を灯油から電気に変更するが、いくら位安くなるのか。
- 滝口主幹 : 1,000万円程度減額となる試算であるが、使い方、運営の仕方により変動がある。節電が重要になる。
- 今井委員 : できるだけランニングコストが下がるよう努力してほしい。
- 金山補佐 : 平成27年第5回羽咋市議会定例会日程について説明
- 井上委員長 : 教育長報告を求める。
- 北山教育長 : 特になし。
- 井上委員長 : その他について説明を求める。
- 金山補佐 : 次回の委員会は、12月21日(月)午前9時30分を予定している。
議件は委員長選挙である。
- 濱田担当課長 : 石川県教育委員会が実施した、いじめ・不登校に関する調査報告書の説明。

(質疑応答および委員協議)

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午前11時40分閉会

平成27年 第10回羽咋市教育委員会 / 会議録

1 日 時 平成27年12月21日(月)
開 会 午前 9時30分
閉 会 午前 10時20分

2 場 所 羽咋市役所 議会第2委員会室

3 出 席 者 委員長職務代理者 西 村 麗 子
委 員 前 田 美 佳
委 員 井 上 克 彦
委 員 今 井 和 秀
教 育 長 北 山 吉 郎

4 職務のため出席した者

学校教育課学務担当課長 濱 田 弘 一
学校教育課課長補佐 金 山 幸 富
文化財室長 高 野 誠 鮮
文化財室参事 若 狭 康 子
生涯学習課長 勝 田 永 彦
生涯学習課課長補佐 和 田 美 紀
生涯学習課主幹 中 村 茂 樹
スポーツ推進室主幹 滝 口 一 彦

5 付議案件

(1) 議案第19号 羽咋市教育委員会教育委員長選挙について

- 6 会議の概要 別紙のとおり。
- 7 会議の結果 議案第 19 号は委員による協議により、井上委員長が再任された。

平成 2 7 年 1 2 月 2 1 日

羽咋市教育委員会

会議の概要

- 金山補佐 : 井上委員長の任期が12月20日で満了していることを報告し、西村職務代理者で会議の進行を依頼する。
- : 12月15日の平成27年第5回羽咋市議会定例会において、「井上克彦」委員が再任された。
- 西村職務代理 : 会議の開催を宣言し、議案第19号の説明を事務局に求める。
- 金山補佐 : 井上委員長の任期が12月20日で満了しており、議案第19号議案は委員長選挙である旨説明する。
- : 委員長の任期は平成27年12月21日から平成28年12月20日までの1年間となり、無記名投票か氏名推薦の方法がある。
- 西村職務代理 : 第19号議案を議題とし委員長選挙を行う。選挙方法について意見を求める。
- 前田委員 : 指名推薦で行うことを提案する。
- 西村職務代理 : 協議の結果、指名推薦によることとし、指名推薦について発言を求める。
- 前田委員 : 引き続き、井上委員にお願いしたい。
- 金山補佐 : 自己に関する事件等は議事に参加することができないが、教育委員会の同意があれば議事に参加できることを説明し、協議の結果、井上委員は同席することになる。
- 西村職務代理 : 協議の結果、全員一致で「井上委員」が委員長に再任される。
- 井上委員長 : 委員長挨拶。
- 金山補佐 : 西村委員が委員長職務代理者になることを報告。
- 井上委員長 : 教育長報告を求める。
- 北山教育長 : 特になし。
- 井上委員長 : その他について説明を求める。
- 高野室長 : 羽咋市・羽咋郡2町が申請した「漂着神(ヨガミ)の聖地」が、石川県教育委員会の「いしかわ歴史遺産」に認定された。日本遺産の登録に漏れた県内5件が認定されたものであり、県が積極的にPRしてくれることになる。
- : 12月7日からの強風により羽咋神社の神木であるサワラの木が45度以上傾き危険であるため伐採した。市の指定文化財の木であったため指定解除する。
- 井上委員長 : 市民には、指定解除したことをどのように伝えるのか。
- 高野室長 : 来月の文化財保護審議会で決定後、市の広報やホームページでお知らせしたいと考えている。

西村職務代理：「漂着神の聖地」で文化財めぐりとあるが、ツアーのような案があるのか。

高野室長：宝達志水町から志賀町の漂着神の史跡を中心に、観光ガイドには載っていない新たな観光地を示すものであって、観光ルートやツアーではない。漂着神は他の地域でも祭りが行われているが、羽咋市と隣接する自治体としか組めなかった。

金山補佐：次回委員会の予定を説明。

井上委員長：総合教育会議を予算編成の時に開催すると言っていたが、いつ開催するのか。

金山補佐：現時点での開催は難しい。

北山教育長：次年度予算の見通しが立った時点で開催できないか。

井上委員長：総務課と協議し、日程が決まれば教えてほしい。新年度予算の承認だけで総合教育会議を開いても意味がないと思う。

北山教育長：金額を増やすことは難しい。実務の内容について意見をいただければと思っている。

西村職務代理：教育委員の思いや改善に関する意見はどうすればよいのか。

北山教育長：人的配置の要求があっても予算を確保するのは大変。全体の予算の中で捻出しなければならず、配置された予算で意見をいただきたい。

今井委員：新年度予算が固まりつつあるこの時期での総合教育会議では遅いと思う。予算に反映するのであれば9月か10月に開催しなければならず、来年の課題にしてほしい。

井上委員長：市長裁定の前に、教育委員の意見を述べる機会として総合教育会議を開くことも考えられる。教育委員は意見・要望をするだけで、最終的には市長が判断することは分かっている。総合教育会議を開くにしても、予算の要望か承認なのか位置付けが必要。今年度の開催が時期的に難しいのであれば、来年度の検討課題としてほしい。

金山補佐：年度当初に総合教育会議を開催する予定であるが、この時に予算の話ができる。

西村職務代理：新年度予算に向けて、教育委員として意見を言う機会がほしい。総合教育会議は年に2回開催してほしい。

井上委員長：次年度の予算に少しでも反映させたいが、どの時点ですればよいか。

今井委員：総合教育会議を開いた以上は実のあるものを残さないといけない。予算の最終編成権は首長にあり、教育委員会だけが突出することはできない。予算を作る前の9月か10月に、金額の要望・要求でなく重点事業の意見・提案をすることが良いのではないか。

井上委員長 : そのタイミングの設定が良い。金額的にどうのこうのというものではない。学校の教育現場を見て、率直に提案できる場にすればよい。来年に向けて考えてほしい。

西村職務代理 : 昨今、新聞等でいじめ事件が報道されている。アンケートを取ったが特に問題がなく、事件後のアンケートでは問題があったことが多い。本市でのアンケートは市統一なのか学校ごとなのか、どのような内容なのか次回の委員会に見せてほしい。アンケートは必要であると思うがどのようにしているのか教えてほしい。

井上委員長 : アンケートは市統一か。

濱田担当課長 : アンケートの内容は市統一ではなく各学校に任せている。実施については、毎学期・毎月など定期的に実施している。学校はアンケートばかりに頼っているのではなく、日常の子供たちの様子などアンテナを高くして見守っている。

井上委員長 : 市教委は8校がどのようなアンケートで、いつやっているのか把握しているのか。

濱田担当課長 : アンケートの内容は把握していないが、実施時期は把握している。

井上委員長 : 次回の委員会で、各校のアンケートを取り寄せて見せてほしい。

濱田担当課長 : はい。

北山教育長 : アンケートを取る一つの目的は「子どもたちから目を離していないよ。」とのサインでもある。

前田委員 : アンケートは、いじめられている子は書きにくい。周りの子が書くかもしれない。アンケートを取っていることで、学校は「気にしている」「見守っている」とのアピールがあり、いじめる側に対して抑止力があると思う。

井上委員長 : 市教委は、各校のアンケートの内容・実施時期を知っておくべきだと思う。

その他、特になく、委員長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午前10時20分閉会